

都立清瀬小児病院の廃止に反対し、

小児医療の拡充を求める要請

東京都知事 石原慎太郎 殿

取り扱い団体 都立清瀬小児病院を守る会
清瀬市松山 2-6-5 新婦人清瀬支部気付
電話 0424-92-4842

請願主旨

都は、都立病院の再編で「2007 年度に清瀬小児病院・八王子小児病院・梅ヶ丘病院を廃止し、現在の府中病院に隣接して 3 病院を統合、周産期部門を併設した小児総合医療センターを作る計画」を発表しました。清瀬小児病院移転後の対応として、「現在の多摩老人医療センターを多摩北部地域病院（仮称）として整備し、（財）東京都保健医療公社への移管と同時（2005 年 4 月）に最大 40 床程度の規模を有する小児科を新たに設置し、休日・全夜間救急などの体制を整備する」として計画を進めていました。しかし 2004 年 9 月、「2003 年 9 月にまとめられた『多摩地域における小児医療体制検討会』の報告を受け、当初構想を上回る機能の充実・強化を図ることが必要となった」として統廃合の時期を 2009 年度末とすると延期を発表しました。

清瀬小児病院は 1948 年に小児専門の結核病院として発足し、時代の要望にそって拡大され、現在は入院病床 255 床、外来 300 名の規模で、子どもたちの健康と生命を守るため、休日・全夜間救急・高度専門医療を担っています。特に救急医療はこの 10 年で 4 倍、2002 年度は 16,000 件以上を受け入れ、地域にはなくてはならない小児専門の医療機関です。

2001 年に当守る会や他団体の取り組んだ都議会あて「廃止反対」の署名は、10 万筆を超え、清瀬小児病院への大きな期待が寄せられました。

小児医療は不採算医療といわれ、病院・診療所から小児科がなくなっています。子どもたちの健康と生命を守るために都立清瀬小児病院の廃止計画を取りやめ、老朽化した施設を早急に整備されるよう要望します。

要請事項

- 1 都立清瀬小児病院を廃止しないこと。
- 2 小児医療拡充のため、老朽化した清瀬小児病院の立て替えを実施すること。

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |